

極東國際軍事裁判所

亞米利加合衆國 其他

對

荒木貞夫 其他

宣誓供述書

供述書 高木秀三

自分儀我國ニ行ハルル方式ニ從ヒ先ヅ別紙ノ通り宣誓ヲ爲シタル上  
次ノ如ク供述致シマス

一、私ノ姓名ハ高木秀三、明治三十九年十二月四日生レ、現住所ハ東京都杉並區~~杉並~~四ノ九三番地佐藤勝郎方、昭和三年陸軍士官學校ヲ昭和十六年陸軍大  
學校ヲ夫々卒業、爾來各種ノ任務ニ服シタル後昭和二十年一月「ビルマ」方  
面軍參謀ニ補セラレ終戦迄同職ニ留マリマシタ。  
二、私ハ檢察側提出ノ「ビルマ」ニ於ケル不法行爲ニ關スル法廷審ヲ見マシタ。  
而シテ私ガ「ビルマ」方面軍ニ在任中方面軍司令部ハ斯ル不法行爲ニ關イテ  
何等知ルトコロナク、又木村方面軍司令官カラ斯ル不法行爲ヲ命ゼラレタル  
コトハ絕對ニアリマセン。  
木村將軍ハ萬ニ重忠ノ振肅、民心ノ把握ヲ統率ノ根本方針トシテ最後迄懸命  
ノ努力ヲ竭ハレマシタ。

以上

昭和二十二年（一九四七年）十月貳日

於

東京都杉並區狹野  
四ノ九三

供述者 高木 秀三

右ハ當立會人ノ回顧コトヲ宣讀シ且ツ署名捺印シタルコトヲ聲明ス

同日於同所

立會人 是 恒 達 見

Doc. No. 2681

宣

誓

書

良心ニ従ヒ眞實ヲ述ベ何事ヲモ欺秘セズ又何事ヲモ附加セザルコトヲ誓フ

署名印

高木

秀三